

映像上映&トーク

青森県立美術館版 バレエ「アレコ」上映会

2025年

1月11日(土) イオンシネマ弘前 SCREEN 6 (弘前市高崎2-15-1)

1月12日(日) 八戸ポータルミュージアム はっち シアター2 (八戸市三日町11-1)

各会場 14:00開場 14:30開演 (16:30 終了予定) 料金/ 1,000円(税込) [高校生以下無料]

トークショー出演ダンサー



アレコ役 大川 航矢(青森市出身)
(牧阿佐美バレエ団)



ゼンフィラ役 勅使河原 綾乃
(NBAバレエ団)



ロマの若者役 北爪 弘史
(NBAバレエ団)

申込/ 2024年12月13日(金) 10:00から受付開始



申込はこちら

主催：青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会、青森県立美術館
協賛：協同組合青森総合卸センター、青森三菱電機機器販売株式会社、青森三菱ふそう自動車販売株式会社、株式会社阿部重組
助成：一般財団法人地域創造

青森県立美術館版バレエ「アレコ」の迫力をスクリーンで



青森県立美術館の中心には、縦・横21m、高さ19m、四層吹き抜けの大空間が設けられています。アレコホールと呼ばれるこの大きなホールには、20世紀を代表する画家、マルク・シャガール(1887-1985)によるバレエ「アレコ」の背景画が展示されています。

青森県は1994年に、全4点から成るバレエ「アレコ」舞台背景画中、第1幕、第2幕、第4幕を収集しました。第3幕は、アメリカのフィラデルフィア美術館に収蔵されていますが、現在同館から借用し、アレコホールでアレコ全4点を展示しています。

この背景画は、アメリカのバレエ団からの依頼により制作され、1942年にメキシコで初演されたバレエ「アレコ」は、アメリカやヨーロッパで巡回公演が行われましたが、1968年の公演が最後となりました。

それから50年以上の時を経て、背景画全4点がそろった特別空間において、アレコ本来の魅力を多くの方に体感していただきたいという思いから、青森県立美術館版バレエ「アレコ」を新たに制作し、2024年11月1日から4日間 6回公演を行いました。

今回は、このバレエ公演をスクリーンでご覧いただきます。上映後は、出演ダンサー3名のトークショーを行い、ダンサーから見たアレコの魅力等についてお話しいただきます。

Story

貴族社会に嫌気がさし、自由を求めてロマの団に加わったロシアの青年貴族アレコは、ロマの娘ゼンフィラと恋に落ちる。しかし、恋にも自由なゼンフィラはすぐに別の若いロマの男へ心移してしまう。ゼンフィラ達の逢瀬を目撃したアレコは、嫉妬のあまり錯乱状態に陥り、若いロマの男を刺し殺し、さらにゼンフィラも殺してしまう。再び孤独になったアレコは1人行く当てもなく立ち去っていく。



プログラム 第1部 14:30-15:40 青森県立美術館版バレエ「アレコ」映像上映
第2部 15:50-16:30 出演ダンサーによるトークショー

料金 1,000円(税込)〔高校生以下無料〕

申込 2024年12月13日(金)10:00からWEBによる申込を受付します。
(先着順 各会場とも定員になり次第締切となります。)

問合せ 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局
TEL: 017-783-3000 (受付時間 平日9:00-17:00)
FAX: 017-783-5244
E-mail: aleko@aomori-museum.jp

※いただいた個人情報は、本事業の実施に関することのみに使用いたします。